

## 人材育成

### グローバルに活躍できる人材の育成



グローバルに通用する能力を備えた、多様な人材の育成を加速しています。

若手社員は、自分のコアとなる専門能力とタフな精神力、語学力を習得します。若手社員のためのOT研修では、海外事業体

で現地スタッフとともに特定テーマを遂行し、海外での仕事の仕方を学びます。

また、技術学園生も継続的に英語習得に取り組み、海外研修では現地大学生とのコミュニケーションや交流を行っています。

#### VOICE

#### OT研修制度の見直し (OT:Overseas Training)

OT研修制度の見直しを行い、2017年4月より新制度での募集を開始しました。

新制度では、海外事業体での泥臭い実務経験を積むことと、ローカル社員と現地語で仕事ができる語学力の習得を目指しました。

主な見直し内容は、研修期間を最長半年から1年以上としたことと、派遣先を非英語圏(タイ、インドネシア、中国、チェコ、ドイツ)としたことです。それにより、より現地の言語や文化への理解を深め、現地スタッフ・ローカル社員との信頼関係強化につなげたい考えです。

仕事の間が世界中に広がることで、若手社員が海外で活躍する機会が増えています。

本研修制度での実体験を通して、海外で働くことの意義や現地語でのコミュニケーションの大切さを肌で感じていただき、グローバルに通用する社員として成長していただくことを期待しています。



人事部 人事労政室  
労務要員チーム

永井 利和(OT研修制度担当)

### 専門技能研修

鍛造工場では、技能職社員全員を対象に、工場が必要とされる知識・技能を体系的に学ぶための「専門技能研修」を2016年8月より開始しました。

本研修は、一つひとつの作業の目的や「なぜ」を理解し改善につなげることを目的とし、ものづくりの基礎から、それを生み出す設備の基本、異常処置にいたるまでの技能職の役割を、3つの級(C級、B級、A級)に分け、ステップを踏んで学ぶ体系となっています。(C級:~入社5年、B級:~入社10年、A級:初級監督者)知識教育と技能実習を組み合わせた実践的な内容で、受講者の習熟度は、テストで理解度を確認するとともに、改善事例発表会および現地現物で実践で活かせるレベルに達したかを確認し、合格者に級認定するしくみとしています。

技能職社員全員がこの研修を受講することで、「なぜ」を追求する風土を醸成するとともに、技術・技能の伝承を促進します。



▲現場での改善事例説明



▲認定式

研修開催回数(延べ)

19回

受講者数(延べ)

158人

## 社員の健康・安全

### 安全衛生に対する活動方針

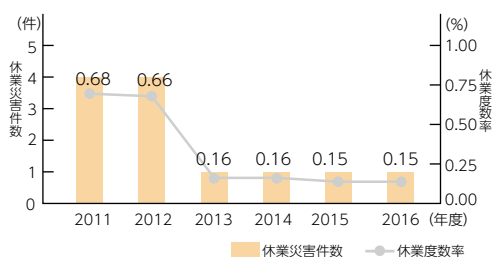


「何人たりとも構内で災害を発生させない」という強い決意で、構内事業所、グループ会社と連携し、総合安全衛生管理を推進し、「オールアイチで災害ゼロ」を目指しています。

### 休業災害ゼロに向けての取り組み

休業災害ゼロを目標に、「1.8」事故の教訓を忘れることなく、安全な風土改革、安全な場づくりを推進しました。火災・爆発の再発防止を図るとともに、重大災害に繋がるリスクの高い作業の改善を行い、安心・安全の再構築を図りました。また、構内事業所とのコミュニケーションを図り、やりにくい作業のヒアリングなど、支援体制を強化しています。

#### 休業災害件数・度数率



### トップによる作業観察会

2016年度は、全ての工場で燃烧炉の作業観察会を実施しました。会長、社長らトップ自らが、現地現物で作業を観察、指導するなど、爆発事故再発防止に向けた取り組みを全社で展開しました。



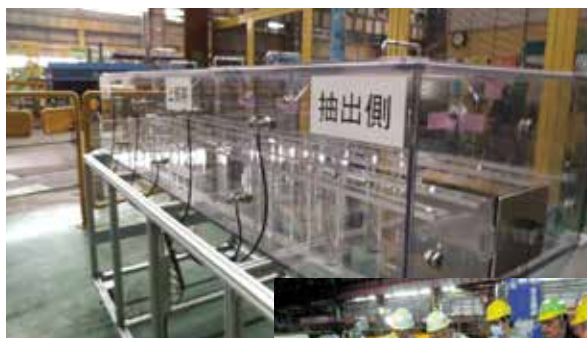
### 安全な場づくり活動

2016年度は、全社の燃烧炉の危険度を再評価し、不具合のあった燃烧炉の全てにインターロック機能を追加し、「1.8」事故の再発防止対策を完了しました。

また、職場の安全確保のためのリスクアセスメントを実施してランク付けを行い、危険度の高いD・Cランクの排除を継続して実施しました。昨年度に引き続き、「挟まれ・巻き込まれ」「人と車両の分離」「感電防止」についての取り組みを実施しています。

### 体感道場による安全人間づくり

安全啓蒙活動の一環として、日常業務に直結した危険を体感できる「体感道場」を設置し、工場内で起こりうる様々な危険をデモ機を通して体感することで、危険感受性の向上を図っています。2016年度は、「1.8」事故の教訓を風化させない教育として、怖さの体験と知識技能を伝承するため燃烧設備体感訓練機を導入し、燃烧炉の作業員全てに教育を実施しました。



▲炉内パージデモ機



▶ 燃烧設備体感訓練

### 健康推進の取り組み

アイチグループは産業医、保健師、看護師、健康管理スタッフが一体となって、グループ全従業員の健康維持・推進を図っています。

2016年度はメンタルヘルス活動、生活習慣病予防活動、海外赴任者の健康管理支援活動を重点実施事項に掲げ、計画的に取り組みを推進しました。会社の重要課題である社員の健康維持・増進の充実のため研鑽を続けていきます。

### メンタルヘルス活動

アイチグループでは、従業員の「心の健康」を維持するために、各種教育、ストレスチェックに基づく個人別ケアを行い、メンタル不調者の発生未然防止に努めています。

2016年度は、ストレスチェックに基づく職場診断結果に基づき、リスク度の高い職場に対し改善アドバイスを実施しました。また、精神科顧問医とも連携、「出張相談会」を継続実施し、早期発見・早期ケアに取り組んでいます。

今後も管理監督者との連携をとりつつ、「何でも言い合える風通しの良い職場環境」づくりを推進し、メンタル不調者の発生未然防止、早期発見・早期ケアを図っていきます。